

熊本市社会福祉協会の沿革

昭和13年 8月 1日	熊本市の外郭団体として、 財団法人熊本市社会事業協会を設立、 事務所を熊本市役所・厚生課内に置き、世帯困窮者、 出征軍人遺家族の援護等を行う。
昭和13年10月 1日	熊本市横手町及び九品寺に簡易住宅を設置。 住宅に困窮している低所得者の入居を計る。(各木造瓦葺き平屋建2棟、10世帯)
昭和14年11月15日	熊本市手取本町に授産場を設置し、 出征軍人遺家族に軍需被服縫工作業の場を提供し技術指導と収入の道を計る。(定員50名)
昭和16年 5月 1日	熊本市本荘町に本庄乳児院を設置し、不遇な乳児の救済につとめる。
昭和20年 9月 1日	終戦に伴い、熊本市授産場を熊本市手取洋裁授産場と改称。 入所対象者を戦災者、引揚者、戦争未亡人、母子家族、低所得者家族として、 民需被服の縫製技術指導 及び縫製作業を行う。
昭和22年12月12日	本庄乳児院、児童福祉法による乳児院として、認可を受ける。(定員20名)
昭和25年10月20日	熊本市本荘町に本庄乳児保育所(昭和32年3月双葉保育園と改称)を設置。(定員60名)
昭和27年 5月24日	社会事業法の発行に伴い組織を変更し、社会福祉法人熊本市社会福祉協会と改称。 事業所を熊本市手取本町19に置く。
昭和27年 5月24日	熊本市手取洋裁授産場を熊本洋裁授産場と改称。 社会事業法による授産事業認可。生活保護家庭、身体障害者、低所得者家族、 母子家庭等を入所対象として、高級紳士服及び婦人服の仕立技能指導と仕立作業を行う。
昭和28年 1月 1日	熊本市若葉町にのぞみ保育園を設置する(定員60名)
昭和29年 4月 1日	熊本市手取本町の熊本洋裁授産場内に熊本技能指導所を設置。(定員30名)
昭和32年 1月25日	法人事務所、熊本洋裁授産場、熊本技能指導所、双葉保育園の各施設が 熊本市本荘2丁目の現在地に新築移転。
昭和32年 2月 9日	本庄乳児院を熊本乳児院と改称。設備及び定員変更申請認可。(定員30名)
昭和34年 1月 1日	熊本市池田町に報徳保育園を設置(定員60名)
昭和42年 4月 1日	熊本市洋裁授産場を熊本授産場と改称。測量製図部を増設。 測量、製図、トレース業務を行う。
昭和49年11月30日	双葉保育園を鉄筋コンクリート2階建に全面増改築。(定員90名)
昭和51年11月25日	報徳保育園を鉄筋コンクリート2階建に全面増改築。(定員90名)
昭和56年 4月 1日	熊本授産場に知的障害者の作業を主体とした軽作業部を増設。
昭和60年 3月15日	熊本乳児院を鉄筋コンクリート2階建に全面増改築。(定員30名)
平成 元年 3月10日	のぞみ保育園を鉄筋コンクリート2階建に全面増改築。(定員90名)
平成 3 年 4月 1日	のぞみ保育園定員の変更申請認可(定員110名) 知的障害者通所授産施設ワークショップ熊本を熊本市本荘2丁目に新設。(定員25名)
平成10年 3月31日	熊本授産場を鉄筋コンクリート2階建に全面改築。(定員25名)
平成10年 4月 1日	のぞみ保育園定員の変更申請認可(定員100名)
平成13年12月15日	報徳保育園拡張工事を行う。
平成18年10月 1日	熊本授産場、基準該当障害福祉サービス事業の開始。
平成21年 6月29日	報徳保育園、一時預かり事業の申請認可。
平成23年12月10日	熊本乳児院 スプリングラー設置工事竣工
平成24年 3月 1日	ワークショップ熊本、就労継続支援B型施設へ移行事業開始(平成24年2月29日指定)
平成25年 4月 1日	熊本乳児院 小規模グループケア開始(定員6名)

